



—東地中海地域ニュース—

シリア：ロシア軍によるタルトゥースの機能強化

(7月22日付サフィール紙)

7月22日付、サフィール紙がロシアによるタルトゥース港（地中海に面したシリアの主要港で、ラタキア港と並ぶ2代港湾の一つ）の近代化について報じている。概要は以下の通り。

1. 20日、ロシア海軍上層部筋は、ロシア政府がタルトゥース港におけるロシア艦隊の後方支援基地の改良・近代化を始める事を発表した。また、同筋はロシアの通信社「ノボスティ」に対し2隻のロシア艦が今週、浮きドックをタルトゥース港に輸送すると述べた。
2. 海軍上層部筋はタルトゥース港の近代化によりアデン湾における航行の安全確保のために活動するロシア艦に必要なものが全てもたらされるだろうと述べた。
3. 既にタルトゥース港の技術部門にはロシア海軍軍人が50名勤務している。ここに、黒海艦隊支援のための浮きドックは、この海域で活動するその他のロシア艦隊に対する支援も期待される事となる。
4. 1991年から1992年の間、黒海艦隊司令官を務めたイゴール・カサトノフ提督は、タルトゥース港におけるロシア海軍基地の重要性を強調し、この基地は紅海と大西洋への機動を可能にすると明らかにした。

【補足情報】

シリア：ロシアとの軍事関係（2006年～現在）

- 2006-07-25 ダマスカスの外交筋は、先週、ロシアはシリアに、イスラエルの攻撃を受けた際に、ロシア製のミサイルを使用しないよう申し入れをしたと述べた。
- 2006-10-18 イスラエルのオルメルト首相は、モスクワでプーチン大統領と会談。同首相は、イランやシリアへの武器禁輸について協議したと述べた。
- 2007-02-22 ハアレツ紙は、シリアは、イランとロシアの支持もあり、過去にない規模で軍の増強を進めていると報道。
- 2007-03-21 米国国務省のDavid Kramer 次官補は、ロシアがシリアやイラン、ベネズエラに武器を売却していることに懸念を表明。
- 2007-05-23 ロシアのセルゲイ・イワノフ第一副首相は、シリア経由でイランに武器を売却したことを否定した。
- 2008-04-17 クウェイトのアル・ワタン紙は、シリア人技術者らがロシアを訪問し、新

- 型レーダー (the Pantsyr-S1.) 受け入れ準備をしていると報道。
- 2008-08-20 ハアレツ紙は、シリアのバッシャール・アサド大統領が 21 日から、ロシアを 2 日間訪問することについて、実務訪問であるとして、ロシアがシリアへの武器供与を拡大することに懸念を表明。
- 2008-08-20 シリアのバッシャール・アサド大統領は、ロシアの Kommersant 紙との会見で、防衛関係でロシアと関係を強化したいと述べた。
- 2008-08-21 ロシアのラブロフ外相は、シリアに国際的な軍事バランスを失わないために新たな武器を提供する用意があると述べた。22 日のシリア紙報道では、シリア政府高官は、イスカンダル・ミサイル・システムをシリアに配備することに合意されたとの報道を否定。
- 2008-08-21 AFP は、モスクワの戦略・技術分析センターのブーコワ所長が、イスラエルと米国の圧力で破棄された、シリアへの S-300 地对空ミサイル配備、短距離誘導ミサイル「イスカンダル」供与について、ロシアと西側諸国との緊張により、供与が加速するかもしれないと述べた。
- 2008-08-22 ハアレツ紙は、オルメルト首相がメドベージェフ大統領と 20 日に電話会談した際、シリアへの武器供与、特に先進型対空ミサイル S-300 (SA-10) を供与しないよう要請したと報道。
- 2008-09-29 ロシアのラブロフ外相は、シリアとの軍事的、技術的強力は中東の勢力均衡に脅威を与えるものではないと述べた。
- 2008-10-05 イスラエルのオルメルト首相は、今週、ロシアを訪問する予定だと報道された。オルメルトは、ロシアにイスラエルと敵対する国に最新兵器を売らないよう要請する予定だと報道された。
- 2008-10-07 イスラエルのオルメルト首相は、ロシアを訪問、メドベージェフ大統領と会談した。オルメルト首相は、イスラエルの安全に係わる武器輸出をしないことでロシアが同意したと述べたが具体的な合意はなかった模様と報道された。
- 2009-02-01 イスラエルのバラク国防相は、キプロス船籍のロシア船の船荷は、シリア向けでありハマス向けではないとした。バラクは、同船問題で米国と接触しているとした。またまだ検査すべきコンテナがあるとした。同船荷は、イラン T の武器取引を禁止した決議 1747 違反に相当するとされた。
- 2009-02-13 キプロス当局は、捜索をしていたロシアの貨物船 Monchegorsk (キプロス船籍) から、疑惑の船荷を降ろしたと報道された。
- 2009-05-20 ロシアの軍事産業基金筋は、「ルース・イブロン・エキスパート」基金がシリアと 2007 年に締結したミグ 31 など戦闘機や武器供給に関する契約の実施を停止することを決定したと述べた。ロシアとシリアは、この問題の解決には合意しなかったとされた。本件についてシリアは、ロシアに 4,000 万ドルの負債を負っていたが、ロシアが一部を帳消しにし、現在、負債の残りは 3,500 万米ドル程とされている。

---

©本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799